



平成24年3月20日
飯田 赤次所
発行 3700-9120

第85号
発行 85頁
第85号

譲り合いと交通安全

五三二頁 松岡康榮

間もなく春の交通安全週間が始まります。それに先駆けて、大人が身をもって幼い子供たちに、歩行者及び自転車としてのルールとどの様な行動をとれば良いかを教えましょう。

①交差点の信号待ちでは一位位手前で待とう。自動車には停止線が有ります。

②狭い歩道で自転車とすれ違ふ時には、道端の段差等に体を横に開いて止まり、自転車をやりに過ごそう。

歩行者優先の原則はありますが、この方法が安全でおすすめで、一人一人が自分の権利だけを主張してはいけません。

③歩行中は後ろからの物音に注意し、必ず振り返ろう。自転車や急ぎの人かもしれない。引いたくり等の防止策としても有効です。

少しの習慣付けと譲り合いの気持ちで、安心・安全の街を作ります。

(玉川二丁目町会長)



原発を考える

首三頁 千野昭江

あの忌まわしい三・一一、地震、津波その上、原発の水素爆発事故、地震で崩れた瓦礫は東京をはじめ山形県、千葉県等々の協力が検討されている。海での養殖の方も徐々にであつても進んでいく。

しかし、原発の方は、一年を迎え、今でも事故続発ニュースを聞く度「まだそんな事してゐるのか...」と苛立つ。

今こそ太陽、水、風、地熱、そして期待のメタンハイドレートと総動員総動員でクリーンエネルギーに変えるべきと強く思う。私達はこの選抜を誤る事なく進める力になりたい。

町の安心・安全

四三頁 長谷川 聡

町の安心・安全の為に、四年程前より商店街でAED10台、防犯カメラ16基等の設置により、ハードの面では強化されて来ましたが、しかし大切な事はソフトの面であり、学校を中心に年三回、「おはこみ」運動をしておりますが、大変良い事と思っております。

昨年の東日本大震災に於て「絆」がクローズアップされた様に、今は久しくなつた「お互い様」の気持ちを感じております。

お互いが「思い遣り」の心で接する事が、町の安心安全への最も近い道ではないでしょうか。

(用賀商店街副理事長)



車社会の安全

二頁 永島重利

玉川警察署では、千人配置を秋の交通安全運動において十回実施致しました。

瀬田地区では、瀬田交差点を中心に環八の歩道、瀬田中学校から高速入口までの間、約2kmを愛持ち、町会・商店会・PTA・おやじの会等、毎回二百余名の方々に協力頂きました。

皆様のお陰で交通安全の啓蒙啓発活動を大いに達成する事が出来ました。

十回を機に見直しをし、現在は管内の各駅頭においての活動に変更致しました。間もなく春の交通安全運動です。

お年寄りの安全・町の安全

四三頁 小島和子

「誰もいない時に倒れたらどうしよう」「地震になったらどうしたらいいの?」「AEDはいつ使う物?」高齢の方々の不安や疑問要望は様々です。

町会や行政の取り組みでそれ等が少しでも払拭されたら、高齢の方々の安全町の安全度はぐんと上がるのではないでしょうか。

普段の暮らしの中で散歩やお買物の途中で「お元気ですか?」「お手伝いしますか?」「ありがどう」「よろしくね」と笑顔で声を掛け合い、みんなが手をつないで元気に仲良く暮らして行きたいと思ひます。

(陽果会サロン)

木洩れ日

飯田恭次

歳月は川の流れの様に過ぎて行きます。昨春の東日本大震災から早一年、被災地の皆様のご苦勞を思うと、未だ心が痛む日々です。

天災は忘れた頃にやってくる。と云う言葉は物理学者寺田寅彦が言ったと伝えられていますが、高知市にある寺田邸址の碑文は「天災は忘れられた頃来る」となっているそうです。

大正十二年の関東大震災、平成七年の阪神淡路大震災、そして、昨年の大震災、私たちは常に、天災は来ると云う心構えを持つ必要があります。

昭和三十年代まで、私たちの日常生活は、村社会の面影が残り、大家族が一般的で、親戚も多く、「困った時はお互い様」と、皆で支え合い助け合つて暮らしていました。

その後、日本列島の大改造……新幹線、高速道路網等交通機関の整備によって都市と地方との時間距離は大幅に短縮。逆に、隣りは何をする人ぞと近隣関係が疎遠化しています。

いよ／＼人口減少社会に踏み込んで行く日本、統計上の数字予測とは別に、一番身近な生活圏での少子高齢化時代をどう迎えて行くか、まら家族主義を真剣に考えておく必要があるのではないのでしょうか。

郷土紹介

馬事公苑

平井夏子

馬事公苑は昭和15年に開苑した総合的な馬事施設です。馬場や厩舎など、馬事に関する施設はもちろんのこと、馬が身近で見られる放牧場や日本庭園、武蔵野の自然林など、憩いの場としての空間もあります。なので、馬事公苑のHPを見ますと、名前の由来として、都民に憩いの場所を提供する公園という意味と、動物のいる庭（Ⅱ苑）という意味で、「馬事公苑」と名付けられたとあります。そして、この馬事公苑は用賀と深い関係があるので

世田谷の宝物

瀬田三吉 長崎文子

私は子育てが終り、親を送り、少し体にゆとりが出来た頃より、近所の友達と砧公園へ朝のラジオ体操に出かけるようになりました。これ18年近くなります。こんなに続ける事が出来たのも良き友達に縁があったからこそだと有難く思っています。

砧公園

公園の中にネムの木本場の名称があります。七月の頃ネムの花が見事に咲きます。長い間通っていき、気が付きました。木々ですばらしいです。是非一度見学する価値があると思いますのでお出かけ下さいませ。

公園では運動を目的とする人達と知りあいになれ、毎朝の挨拶が楽しみです。

今、用賀のまちを歩くと道路が基盤の目状に区画されているのがわかると思います。これは昭和初期に耕地整理が行われたからなのです。しかし、この耕地整理を行うためには、地域ごとに資金を調達しなくてはなりませんでした。そこで用賀地域の西区は、区域の北側にあった露蔵とした雑木林を、昭和8年12月23日（皇太子誕生奉祝行事の折）当時の帝國競馬協会に、坪6円で5万坪売ることになったのです。現在、馬事公苑では愛馬の日などの各種イベントを毎月行っていますし、夏には区民まつりの会場にもなり、全国の物産や区内の御神輿が集い、賑わいをみせています。

若い時は日々の生活に追われ枝の花見一回位でした。公園は管理されていてきれいに掃除して下さるので何時も気持ちが良いです。四季を通じて公園の尊さ有難さを心から感じます。秋は銀杏を拾うのも本当に楽しいひとときです。手間をかけて人に差し上げる喜びで、自己満足をしています。京都の紅葉も良いですが、近くの砧公園でも、もみじ、水木、けやき等々の紅葉が楽しめます。二度とない人生、皆様方暇を作つて是非お出かけになりませんか。さっと、心に残る良い一日となります。



ふりふり子玉川

番子川 山田修一

生後半年の時に父が家を建てた。フロパンガス、井戸、波み取り式トイレ、風呂は薪で焚いていた。

幼稚園の時4丁目目に公園住宅が、小学校2年の時住宅群が建った。雨戸の無いサッシの窓を見るのは初めてで、同級生の家に遊びに行くと西歐風文化の香りを感した。

二子玉川小学校の児童数が膨れ上がり、校庭にアレハアの仮校舎が増築され、「鍵っ子」という言葉も出た。

電化製品の導入は商店、サラリーマン世帯が早く農家は遅れた。農家には井戸が有った為、水道の普及も遅れていた。

スポーツ

①春の全国交通安全運動

4月6日(金)から
4月15日(日)まで

②二子玉川

花みずきフェスティバル
4月29日(祝)
兵庫島公園にて

③フラワールンドの集い

5月19日(土)
20日(日)
瀬田フラワールンドにて

④世田谷区・第三消防方面

合同水防訓練
5月24日(水)又は
25日(金)の予定
多摩川左岸河川敷
(区立二子玉川
緑地運動場)

下水道は完備されていなく3年生の時に多摩川での遊泳禁止が言い渡された。浸水騒ぎが多く、水が引いた後は町中が消毒薬の臭いに満ちた。

我が家は砂利道の水道道路沿い、田んぼの中の一軒家、見かける車はバキュームカー、消防車、自家用車の順であった。

幼稚園時代には、砧本村のわかもと製菓の社員寮の友達の家、砧線に乗ってテレビを見に通った。

東京オリンピックを目前に交通量が多くなり、学校に二子玉川園の遊具の電気自動車を持ち込んだのが交通安全教室が開かれた。自転車教室が開かれたのも同時期だった。



昨年は悲しい春であったが、それでも地球の営みはぎゅーと続けられ、又春が巡ってきた。

私達の周りには馬事公苑あり、砧公園ありの贅沢三昧。砧公園などは、40年くらい前迄、廃車が積み上げられていたりして、現在の美しい姿になったのはそんなに昔の話ではない。

平和である事の有難さを深く感じ、今年も又、春爛漫の中で暮らせる喜び。私達はなんて幸せ者なんだろうと思わずにはいられない。

この美しい豊かな自然を何としても子孫に残す努力をしてゆかねばならないと思います。(千野)